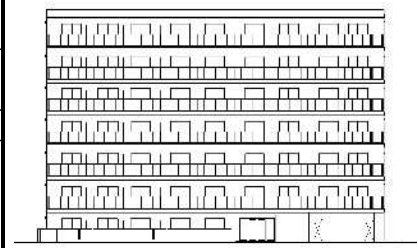


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚代官町計画新築工事	階数	地上7F
建設地	平塚市代官町8番9外2筆	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	99人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年4月13日
敷地面積	610 m ²	作成者	多田建設(株)一級建築士事務所
建築面積	325 m ²	確認日	2014年4月13日
延床面積	2,048 m ²	確認者	多田建設(株)一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 30% 60% 80% 100% 100%超
 □建設 □修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト

参照値 100%
 建築物の取組み 75%
 上記+ 以外の 75%
 上記+ 75%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
シンプルで落ち着いた、多くの方に受け入れられる建築物		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
居室面積に対し開口部を大きくし、室内の昼光利用に配慮した。	光ファイバーを利用したインターネットサービスを導入し、通信手段の多様化を図った。	植栽、通路などの空地を設け、空地率を40%以上とした。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物の熱負荷抑制の為、省エネルギー対策等級を3とした。	主要水栓に節水コマが取り付けられている	敷地内に雨水浸透施設を設置している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される